

研究に参加される患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	(一社)日本脳ドック学会 脳ドックデータベースによる脳卒中・認知症予防に関する研究
研究期間	2021年12月2日 ～ 2035年12月31日
対象患者	中村記念病院、北斗病院で脳ドック検診を受けた被験者のうち、脳ドックデータベースに登録された患者さん
対象期間	2000年1月1日 ～ 2030年12月31日
研究機関の名称	別添のとおり
実施診療科	脳神経外科
研究責任者	井川 房夫
意義・目的	<p>人口の高齢化に伴い、我が国は認知症発症率が世界一高くなっています。脳卒中・認知症の予防に対しては、これまで教育歴、喫煙、運動習慣、高血圧、糖尿病、肥満、食事等が報告されていますが、我が国でのエビデンス(科学的根拠)はありません。</p> <p>一方、我が国では脳健康診査(脳ドック)が世界で唯一発展しており、脳卒中・認知症の発症前から発症まで大規模長期縦断的追跡調査できる環境にあります。また、これまで脳ドックデータベースによる脳卒中・認知症の予防の研究はされておらず、我が国の脳ドックデータの解析を行う必要があります。</p> <p>それらの分析を基に、可能なら脳卒中・認知症予測人工知能を作成します。</p> <p>日本のみならず、世界中で人口の高齢化と共に脳卒中・認知症の発症が問題となっている今、これらの危険因子が明らかになり、予防法が確立されればその意義は大きいと考えます。</p>
研究の方法 (試料・情報の利用方法・他施設からの提供を受ける方法を含む)	<p>対象患者さんにおいて、「利用・提供を受ける試料・情報の項目」に示す情報について、社会医療法人 医仁会 中村記念病院または社会医療法人 北斗 北斗病院より当院へメールで提供頂きます。個人を特定できる情報は収集しません。</p> <p>①脳ドックデータベースより、脳卒中、認知症の頻度、MRI等検査の陽性率を検討します。</p> <p>②アンケートにより、脳ドック被験者のうち、脳卒中、認知機能障害 発症者を追跡し、脳ドック検査時所見、既往歴、生活習慣等の危険因子分析を行います。</p> <p>(アンケートの依頼は郵送またはEメールにて行い、インターネット上で管理番号を付した上で無記名で質問事項に回答頂きます。アンケートにより得られた大規模データそのものは統計処理をして使用しますので、個人が特定されることはありません。)</p>
利用・提供を受ける試料・情報の項目	<p>脳ドックデータベースによる脳卒中・認知症予防に関する研究において調査した以下のデータを用います。</p> <p>年齢、性別、BMI値、BMI分類、MRI検査日、MRI施行回数、MRI装置(テスラ)、MRI検査異常有無、(ラクナ)梗塞、脳室周囲変化グレード分類(PVH Grade)、脳深部白質変化グレード分類(DSWMH Grade)、微小出血、脳表ヘモジデロシス、血管周囲腔拡大、脳萎縮有無、その他MRI異常所見、MRA有無、MRA異常有無、脳動脈瘤有無、脳動脈瘤部位、脳動脈瘤サイズ、血管狭窄有無、血管狭窄部位、血管狭窄率、その他MRA異常所見、高血圧、高脂血症、糖尿病、うつ病、脳卒中有無、脳卒中種類、脳卒中発症日、神経所見有無</p> <p>アンケート調査：脳ドック検診後健康状態、新たに罹患した疾病、全ての入院加療、認知機能検査・障害の有無、生活習慣、食事、睡眠、ストレス 等</p>

試料・情報の提供の有無	試料・情報の他施設への提供 あり・なし (ありの場合、海外の施設への提供 あり・なし)
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	個人が特定されない形で投稿論文として公表します。
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院

脳神経外科 井川 房夫

電話：0853 - 22 - 5111

研究組織

研究代表者：

三重大学大学院 神経病態内科学 教授 富本 秀和
島根県立中央病院 脳神経外科 部長 井川 房夫

研究共同機関：

山口大学医学部 先進温度神経生物学講座 特命教授 鈴木 倫保
滋賀医科大学医学部医学科脳神経外科学講座 教授 野崎 和彦
京都大学大学院 医学研究科健康情報学 教授 中山 健夫
東京大学大学院 医学系研究科 医療品質評価学講座 特任助教 一原 直昭
社会医療法人 医仁会 中村記念病院 脳神経外科 診療本部長 上山 憲司
社会医療法人 北斗 北斗病院 脳神経内科 副院長・検診センター長 金藤 公人